

# 第 3 0 回

## 2 0 2 2 びわこペーロン DRAGON BOAT RACE IN BIWAKO

### 大会要領

主催 びわ湖ペーロン実行委員会  
びわ湖放送  
主管 滋賀県ドラゴンボート協会

## はじめに

ペーロン競漕は、滋賀県と友好関係にある中国の湖南省が発祥の地とされています。そのルーツは、中国・戦国時代、楚国の名宰屈原は愛する国の暗黒政治を嘆き、汨羅江に身を投じました。屈原を慕う漁民達が、三日三晩遺体を捜し回ったが、必死の搜索も空しく遺体を見付けることが出来なかったということです。

それ以来旧暦5月5日に屈原を偲び竜舟競漕が行われるようになりました。

日本では、江戸時代初期、長崎港を訪れた中国船が嵐に遭い、船員が海神に波風を鎮めてもらおうと手漕ぎ舟競漕をした事が始まりとされ、大正11年には、兵庫県の相生市に広がり、さらに沖縄でも年中行事として行われるようになりました。

ペーロン発祥の地といわれる中国・湖南省と友好関係にある滋賀県で、日本一の琵琶湖を舞台に異国情緒一杯に、今年も繰り広げます。

そして、このペーロン競漕を通して、

- 1) 琵琶湖の水を守る心を育む。
- 2) 地域の連帯と協力を深めるコミュニティづくり。
- 3) 国際親善交流に寄与する。
- 4) 県内および他府県からの観光誘致。

などに貢献することを私たちは、主たる目的としています。

**今年で32年目・第30回大会となります。**

※2020年・2021年は新型コロナの影響で開催自粛

- 催 事 名 2022びわこペーロン～美しい琵琶湖を未来に～
- 期 日 2022年8月20日（土）  
開会式：8時～、レース：8時50分～、閉会式：17時（予定）
- 会 場 大津市なぎさ公園サンシャインビーチ（近江大橋西詰）
- 主 催 びわ湖ペーロン実行委員会  
BBCびわ湖放送
- 主 管 滋賀県ドラゴンボート協会
- 後 援 滋賀県・滋賀県教育委員会・滋賀県国際協会・びわこビジターズビューロー・大津市・大津市教育委員会・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社、産経新聞社・中日新聞社・京都新聞社・日本経済新聞社・共同通信社、時事通信社・FM滋賀・NHK・京都放送（予定）
- 協 力 琵琶湖漕艇協会・滋賀県カヌー協会・滋賀県セーリング連盟・滋賀県漁業協同組合連合会  
中国駐大阪総領事館（日中国交正常化50周年記念事業）
- 競技内容 <20人漕ぎ> ・オープンの部 ・レクリエーションの部  
<10人漕ぎ> ・オープンの部 ・レクリエーションの部  
・混合の部 ・女子の部 計60チーム予定  
【オープン】トーナメントによる順位を競う。男女問わず。  
【レクリエーション】初参加向け。びわ湖に親しみ完走を目指す。男女問わず。  
【10人漕ぎ混合】漕手が男女4人以上。  
【10人漕ぎ女子】漕手が全員女子。  
※滋賀県民体育大会を10人漕ぎ該当チームで並行して実施する。
- チーム構成 <20人漕ぎ>  
漕手20名 太鼓手1名 舵手1名  
監督1名（漕手/太鼓手/舵手を兼ねても可） 計23名  
<10人漕ぎ>  
漕手10名 太鼓手1名 舵手1名  
監督1名（漕手/太鼓手/舵手を兼ねても可） 計13名  
※舵手の経験が少ないチームは実行委から派遣します。
- 選手資格 16歳以上で健康かつ泳力に自信のある者。（2022年1月時点）  
13歳以上15歳以下についても下記条件に限り参加を認める。  
<10人漕ぎ>漕ぎ手2名・太鼓1名の計3名まで  
<20人漕ぎ>漕ぎ手4名・太鼓1名の計5名まで

- コース 直線ワンウェイ300m 5コース設置
- 競技内容 オープン・混合・女子の部は着順によるトーナメント方式  
(予選、敗者復活戦、準決勝戦、決勝戦)  
レクリエーションの部はタイムレース方式(2回計測)
- 使用艇 主催者が用意したペーロン艇・太鼓を使用する。  
パドル・ライフジャケット・バチは持参したものを使用可能。
- 組み合わせ 8月上旬にオンライン開催の監督会議・抽選会で決定。
- 表彰 上位3チームを入賞とし、各賞に表彰状、カップ、記念品を授与。  
レクリエーションの部はタイム上位のほか特別賞や飛び賞あり。
- 参加料 20人漕ぎ各部：1チーム70,000円(税込)  
10人漕ぎ各部：1チーム40,000円(税込)
- 申込方法 参加申込書兼誓約書に必要事項を記入の上、びわ湖ペーロン実行委員会へメール(pr@bbc-tv.co.jp)または郵送(〒520-8585 大津市鶴の里16-1)・FAX(077-524-0167)で申し込み。  
申込締め切り：2022年7月15日(金)
- 中止判断 雨天開催ですが、暴風雨など荒天により開催が困難な場合は主催者判断で中止します。また、感染症による「まん延防止等重点措置又は緊急事態宣言」が出た場合は中止。
- 感染症対策
- ・会場来場時に全員検温を実施します。37.5度以上の発熱・呼吸器症状がみられる方、身近な人が感染またはその疑いがある方の会場への立ち入りを禁止。
  - ・ペーロン艇やパドル、ライフジャケットなどの使用後、他者が使用する場合は毎回消毒。
  - ・マスクの着用については、熱中症予防の観点から、船上での漕手や感染のリスクが低い場合については任意とする。
- 警備及び救護 大津警察署と協議の上、会場周辺に警備員を配置。  
湖上に関しては、警備艇1艇、監視(救助)艇3艇、報道艇1艇、合計5艇のモーターボートを配置。医師1名看護師1名待機。  
JCHO滋賀病院、大津市民病院、大津赤十字病院に事故に備えて受け入れ体制を依頼。スポーツ傷害保険に主催者側が加入。